

誤嚥性肺炎で入院される患者さんへ

ID : _____

患者氏名 : さん

主治医 : 医師

	急性期病院(当院での治療) 誤嚥性肺炎の治療				回復期リハビリテーション病院 およそ ヶ月入院		退院
経過(病日等)	入院				入院	退院	・自宅 【自宅以外】 維持期リハビリ病院施設 ・療養病床 ・老人保健施設 ・特別養護老人ホーム ・有料老人ホーム ・ケアハウス
達成目標	入院生活・治療内容が理解できる。	症状の悪化がなく、安定している	※急性期病院退院基準 誤嚥性肺炎症状が改善する	日常生活動作の改善			
治療 注射 処置 内服	点滴治療	合併症治療 内服薬管理	再発予防	※経過中に急変した場合は急性期病院へ連携します 誤嚥性肺炎の再発予防 合併症の管理 栄養管理			
リハビリ	歩行訓練・日常生活訓練 飲み込み、むせこみ確認 食べる訓練	歩行訓練・日常生活訓練 食べる訓練	食事内容や食事の量など管理 日常生活の動作確認	機能障害の改善 日常生活動作の維持・向上 運動機能の維持・向上 食べる訓練			再発の予防 基礎疾患の管理 栄養管理・リハビリ
検査	医師の指示により、頭部CT・レントゲン・ 心電図・採血・採尿・痰の検査をします。	定期的に検査実施		必要に応じて行う			日常生活の維持向上 生活機能の向上 生活の質向上 運動機能の向上
食事	入院初めは医師が許可するまで飲食禁止 飲水テスト(飲み込みの状態確認)を行い、 問題がなければ食事開始します。 その場合、毎食、ご飯/おかずの摂取量を 確認いたします。 飲み込み状態がよくない場合は、耳鼻科 受診もしくは飲み込みのリハビリを行います。	食事の内容、摂取方法(栄養療法)を 検討します。		栄養管理			維持期リハビリ(在宅、入所、 転院)のためには色々な準備が 必要です。主治医や医療相談員 に相談しましょう。 ・介護保険の申請と認定調査 ・ケアマネジャー決定 ・ケアプラン作成 ・家屋調査、改修 ・介護指導 ・在宅医療 ・転院入所調査 ・訪問診療 ・訪問リハビリ ・通所リハビリ ・訪問看護 など
排泄	食事開始になるまで尿量を測定します。 必要に応じ、紙おむつ・尿取りパットを準備 下さい。	医師の許可があればトイレで排泄でき ます。		トイレ歩行訓練 トイレ内動作訓練			
清潔	入浴はできません。	清拭、入浴、介助浴、リフト浴などが できます。		清拭、入浴、介助浴、リフト浴などが できます。 朝夕の洗面 朝夕の着替え			
患者さん及び ご家族への 説明	入院案内 病状説明	相談室にて退院後の療養生活について 検討、療養先の選定。 今後を見据え、意思確認(栄養摂取の 取り方や治療内容など)と病状説明と 医療連携の説明。	介護保険の説明・手続き 介護者指導	リハビリ評価 実施計画の説明	退院指導		

注1 この計画書は、現時点で考えられるものであり、今後検査等によって変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。計画書通り、退院日の準備をお願いします。